

## 薬剤部



### 【新型コロナウイルス感染症への対応】

#### ・ワクチン

昨年に引き続き、新型コロナウイルスワクチンの柏崎市民への接種が行われました。対象年齢が徐々に拡大され、生後6ヵ月以上が対象になりました。

薬剤部ではワクチンの在庫管理、調製を担当しました。年齢により接種されるワクチンの種類が異なります。コミナティ筋注の12歳以上用・5～11歳用・6ヵ月～4歳用、そして希釈不要のコミナティRTU筋注等を使用しました。それぞれ、希釈する生理食塩液の量・1回あたりの接種量・1バイアル当たりの接種回数が異なります。同時に種類の異なるワクチンを調製することもあり、ミスが起きないように細心の注意を払いながら作業しました。

### 【医薬品供給の停止・遅延・出荷調整等】

一昨年から続く、後発薬品メーカーの品質不正問題に端を発した医薬品の供給不足問題は、改善の兆しがなく、更に深刻の度を増しています。日本製薬団体連合会の調査によると、2022年8月末時点で国内の4,234品目(全体の28%)が供給不足になっています。昨年同時期の3,143品目(同20%)から約8%悪化しています。当院においても一年中、出荷調整・遅延等の連絡が届きました。毎日綱渡りの在庫確保が続きました。

### 【薬学生教育】

今年度は〔Ⅱ期〕5月23日～8月7日に1名(新潟薬科大学)、〔Ⅲ期〕8月22日～11月6日に1名(新潟薬科大学)、計2名の実習生を受け入れました。

### 【病薬連携】

外来での抗がん剤治療に関する保険薬局との連携強化について、これまで実施した調査等から有効と考えられる取り組みを実施しました。

病院薬剤師からの情報提供文書が、患者から保険薬局に確実に渡るように患者への啓蒙を強化しました。また、文書を入れる専用の封筒を用意しました。

保険薬局からトレーシングレポートが提出しやすいようにレポートの雛型を作成し病院HPからダウンロードできるようにしました。提出の窓口を薬剤部とし、直通のFAXで提出する仕組みにしました。

### 【診療報酬改定】に伴う新たな取り組み

#### ・FLS

高齢者の二次性骨折を防ぐためにFLSチームの活動が始まりました。

2021年秋からチーム立ち上げのための準備が始まり、薬剤部も関わりました。2022年4月にFLSが本格的に始まりました。ちょうど同じタイミングで診療報酬改定にて二次性骨折予防に対する点数が設けられました。

#### ・褥瘡対策

入院基本料の褥瘡対策に関する改定があり、必要に応じて薬剤師も褥瘡リスクの評価に関わることになりました。褥瘡リスクを高めるような薬剤が処方されている患者について処方提案の必要性等を検討しています。

【薬事委員会】

	内服剤	外用剤	注射剤	合計
新規採用薬品	20	5	15	40
仮採用薬品	0	0	0	0
削除薬品	18	9	11	38
院外採用薬品	2	1	0	3
後発医薬品への切り替え	4	0	0	4

無菌製剤処理業務

【外来】

外来腫瘍化学療法診療料1(抗悪性腫瘍剤を投与した場合)(700点/件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
120	105	118	95	102	108	113	91	84	98	1231		

外来化学療法加算1(抗悪性腫瘍剤以外の薬剤を注射した場合)(450点/件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6	17	8	16	14	15	12	16	12	18	12	18	164

無菌製剤処理料1(180点/件)(閉鎖式接続器具使用)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	4	7	4	3	4	12	10	13	9	8	6	81

無菌製剤処理料1(45点/件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
110	115	124	105	101	115	100	109	106	94	87	102	1,268

【入院】

無菌製剤処理料1(180点/件)(閉鎖式接続器具使用)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	5	1	1	0	0	0	0	7

無菌製剤処理料1(45点/件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
13	7	2	7	16	15	4	7	6	9	12	16	114

無菌製剤処理料2(40点/件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
51	38	61	41	81	129	70	83	94	57	85	104	894

【薬剤管理指導業務】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
82	101	89	109	108	120	95	92	37	91	110	111	1,145
104	107	106	95	111	114	115	98	30	60	88	113	1,141
3	6	5	9	3	0	1	6	8	3	3	6	53
20	16	15	24	16	21	15	23	10	15	22	14	211

がん患者指導管理業務

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
9	8	7	6	1	7	3	6	5	4	8	16	80
73	65	64	61	58	62	62	66	60	58	57	102	788

【薬剤情報提供料 (10点/件)】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
688	687	683	682	760	749	691	695	749	724	626	711	8,445

【外来及び入院薬剤業務】

月別処方箋枚数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,262	1,249	1,228	1,316	1,426	1,391	1,291	1,337	1,382	1,255	1,127	1,446	15,710
3,564	3,253	3,683	3,319	3,497	3,505	3,153	3,388	3,360	2,869	3,304	3,365	40,260

【診療科別処方箋枚数】

内科	小児科	外科	脳外科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	精神科	菌科	放射線科	人工透析	麻酔科	リハビリ	合計
6,685	1,256	609	248	332	159	156	910	942	237	82	125	0	3,928	41	0	15,710
3,101	1,819	2,863	3,350	3,275	1,201	2,552	4,855	6,906	9,633	19	1,345	0	0	346	0	41,265
1,416	446	2,436	3,596	3,034	62	579	9,453	440	2,471	1	13	0	52	9	0	24,008

【院内医薬品集発行】

年1回改訂版を発行しました。

【薬物血中濃度解析】 (件 実績なし)

【長期実務実習生の受け入れ】 (11週間)  
 III期 (8月22日～11月6日) : 1名 (新潟薬科大学)  
 II期 (5月23日～8月7日) : 1名 (新潟薬科大学)

合計2名の学生を受け入れました。

【各種委員会活動】

薬事委員会、衛生委員会、医療安全委員会、化学療法委員会、感染対策委員会、抗菌薬適正使用支援チーム、接遇委員会、診療記録委員会、院内教育委員会、褥瘡委員会、NST委員会、適切なコミュニケーション会議、腎臓病教室検討会議、心臓リハビリテーション会議、ACP(AC)等に参加し活動しました。

【発表】

院内講演

開催日	演者	場所	対象	演題
2022.10.20	籠島 正浩	柏崎総合医療センター	看護部長	医療用麻薬の適正管理
2022.11.22	片桐 秀樹	柏崎総合医療センター	職員	「外来化学療法における薬薬連携強化の取り組み」
2002.11.10～11.24	鈴木 知信	柏崎総合医療センター (HPで動画配信)	職員	「血栓症と抗血栓薬 ～心原性脳梗塞予防を中心に～」

院外講演

開催日	演者	会場	対象	演題
2022.10.19	片桐 秀樹	柏崎市産業文化会館	市内勤務薬剤師	「当院における外来がん化学療法施行患者への取り組みと現状(第2)」
2022.11.12	野島 幸樹	新潟東映ホテル+WEB	厚生連勤務薬剤師	「外来化学療法における薬薬連携強化の取り組み」